

No.	該当項目		委員名	ご意見の内容	本市の対応方針	
1		全体を通して	村山委員	全体を通し、特に意見はございません。これまでの審議等で了解いたしております。	参考	ご意見ありがとうございます。 引き続き計画素案の作成を進めてまいります。
2		全般	澤委員	重点的取組に掲げられる「脱炭素」についての記載が部分的になっており、どの程度重視しているのかが伝わりにくい。 策定段階における問題意識をもう少し盛り込むことができないか。 中間見直し段階で後追いの記載することには違和感を覚える。	素案記載	ご意見を踏まえ、素案に記載します。
3	答申 P1 (骨子 P2)	はじめに	高宮委員	「生物多様性の損失」は中目標に繋がりません。 「生物多様性の損失への対策」とか、「緑や生物多様性の保全」が良いのでは。これは答申書のP.1も同様。	修正	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「緑の保全や生物多様性の損失への対策」
4	答申 P3 (骨子 P3)	第3次計画の振り返り	阪本委員	4行目 3次計画では目標を達成出来ていないことを踏まえて 第4次計画においては更なる環境保全に取り組む・・・など、よりしっかり (積極的)と取り組む意味にはいかがですか。(なんと表現してよいか 分かりませんが)	修正	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「第4次計画においては、第3次計画における環境保全の取組を引き続き積極的に進めるとともに」
5	答申 P6 (骨子 P6)	基本計画について	宮園委員	基本方針1に「快適で」という言葉があり、施策1-3に「快適な都市・居住空間」と記載されています。熊本市がイメージされておられる「快適」とはどのような状態でしょうか。快適な状態は、人によってイメージが異なるかもしれませんので、できるだけ共通認識の持てるような表現を入れられる方が理解しやすいだろうと思います。	素案記載	ご意見を踏まえ、素案に記載します。 なお、「快適」については、やすらぎと潤いのある快適な生活環境の基本的事項である、さわやかな空気や騒音や振動のないまちづくり(施策1-1)や、中心市街地と日常生活に必要な機能が整う地域拠点に都市機能を維持・確保し、それらを利便性の高い公共交通で結ぶ「多核連携都市」の形成(施策1-3)を念頭に置いています。
6	答申 P6 (骨子 P6)	基本計画について	宮瀬委員	「基本方針1 快適で安全・安心な生活環境をつくる」に関連するSDGsについて、目標13気候変動が入っていませんが、温暖化関連の災害が増加する懸念が高まっています。レジリエンスを強化する必要性が高いと考えますので、追加しては如何でしょうか。	修正	ご意見を踏まえ、修正します。

No.	該当項目		委員名	ご意見の内容	本市の対応方針	
7	答申 P8	取組及び具体的取組	波村委員	<p>5(1)イ取組及び具体的取組、(2)達成指標及び成果指標については、今回の答申を基に熊本市で検討されますが、今後、審議会に報告した際に出た意見を踏まえ検討することを促すため、「審議会の意見を踏まえ、前述の基本方針及び施策に沿った取組及び具体的取組を検討されたい」としてはどうか。(達成指標・成果指標も同様に「審議会の意見を踏まえ」を追記)</p> <p>なお、答申書に関する意見ではないですが、12月の審議会への報告は熊本市議会への報告の前が望ましいと考えます。</p>	修正	<p>ご意見を踏まえ、それぞれの項目において以下を追記します。 「なお、検討にあたっては、その内容を審議会へ報告するとともに、審議会の意見を考慮の上、取組及び具体的取組(達成指標及び成果指標)を検討されたい。」 報告時期については、今後の参考にさせていただきます。</p>
8	答申 P8	重点的取組について	澤委員	<p>重点的取組としてかかげる2つの項目について、7つの基本方針、17の施策との関連性、相補的な表現が弱い。 原案表現であると、基本方針・施策と並行して、市全体や国の課題対応のために別途掲げられ、本計画の重点というよりは時限的な対応なニュアンスになってしまう。</p>	素案記載	<p>ご意見を踏まえ、素案に記載します。(重点的取組中に関連施策を記載)</p>
9	答申 P9 (骨子 P10)	計画の外部評価体制・進捗管理	村山委員	<p>熊本市の良好な環境の確保について、市民の意識把握のため、市民アンケートを毎年度実施が望ましい。とありますが関連意見です。 ○良好な環境の確保には市民の役割が重要であり、多数市民の環境問題への関心度を高めることが必要となります。アンケート実施後は内容分析し、問題点を掘り下げ、その対処策を講じたアンケートをお願いしたいものです。</p>	今後対応	<p>ご意見を踏まえ、今後検討します。</p>
10	答申 P9 (骨子 P10)	計画の見直し	阪本委員	<p>中間見直しを入れて頂き良かったです。</p>	参考	<p>ご意見ありがとうございます。 引き続き計画素案の作成を進めてまいります。</p>
11	骨子 P7	主な取組	高宮委員	<p>4-1の取り組み「生物多様性に配慮した農水産業の推進」は4-2に入れた方がよい。農業や漁業は生態系サービスに該当する。</p>	説明理解	<p>ご意見のとおり、当初は4-2に記載を検討していましたが、庁内協議の結果、4-1の取組として記載することとしました。</p>

No.	該当項目		委員名	ご意見の内容	本市の対応方針	
12	骨子 P13	環境目標1	高宮委員	【環境目標1 豊かな水と緑をまもり生きものを育む都市をつくる】→生きものはぐくむ都市をつくる その目標の部分で、R2とH28は、H28とR2	修正	当記載は第3次計画の中目標の記載を行っているものであり、原案通りとします。 緑の基本計画と生物多様性戦略の順で記載があったことから、それぞれの策定年度のR2とH28という表記にしていました。ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「また、緑保全や生物多様性の保全についても、それぞれの個別計画である緑の基本計画(R2策定)や生物多様性戦略(H28策定)での着実な取組が必要である。」
13	骨子 P14	環境目標4	高宮委員	温暖化効果ガス削減率のグラフ 縦軸を逆にした方が、目標値を大きく上回るのが直感できるのではないか。	修正	ご意見を踏まえ、修正します。
14	骨子 P15	目標1	高宮委員	目標1・中目標2 自然豊かな「森の都」をまもり、育てる→まもり、そだてる	説明理解	当記載は第3次計画の中目標の記載を行っているものであり、原案通りとします。 なお、第4次計画では、「まもり、そだてる」との記載で統一します。